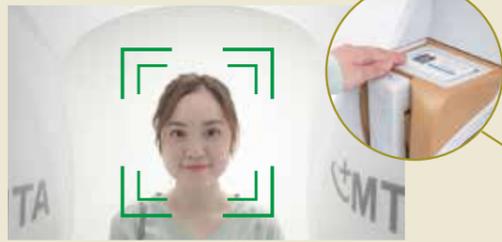


できたらいいなを、プラスしていく。 セブン銀行の第4世代ATM ATM+（プラス）



顔認証技術で広がるATMの可能性
「+ (plus) エリア」で運転免許証などの顔写真を読み取り、ATMカメラで撮影した顔写真と照合する本人確認を実現。今後、さまざまなサービスに活用していきます。



QRコードの読み取りにも対応
QRコードの読み取りが可能になり、決済などのサービスへ用途を拡大予定。
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの商標登録です



ATMの機能・サービスの進化

第4世代「ATM+（プラス）」 2019年～



繭（コクーン）をイメージした丸みを帯びた包み込むようなデザインに刷新、プライバシーを強化。「+ (plus) エリア」によるATMサービスの拡大で使いやすさが向上。ATM稼働状況の見える化などによる安定性の強化を実現したほか、消費電力をさらに約40%低減しています。

第1世代 ATM 2001年～



24時間365日の銀行口座取引を可能にした初のセブン銀行ATM。奥まった位置の暗証番号入力ボタンや、横から見えない画面などセキュリティ対策を重視。また、省スペース設計でありながら故障しない設計に。

第2世代 ATM 2005年～



第1世代と比べて紙幣処理速度4倍、障害率1/2、消費電力1/2に進化。複画面化したほか、ICカード対応、海外発行カードへの対応、電子マネー「nanaco」対応、音声ガイダンス取引を開始。

第3世代 ATM 2010年～



第2世代と比べて紙幣処理速度がさらに2倍、障害率、消費電力もさらに1/2に進化。多言語対応を4言語から12言語に強化。海外送金サービス（2011年）、スマホATMサービス（2017年）、ATM受取サービス、交通系電子マネーへのチャージ（ともに2018年）を開始したほか、QRコード決済サービスへのチャージにも対応。

「あったら便利」から

「できたらいいな」へ。

ATMの新たな価値をつくる

「セブン・イレブンのATMがあったら便利なのに…」というお客様の声を受けて2001年に誕生したセブン銀行は今、世の中に新たな価値を生み出すとしていきます。2019年9月に発表した第4世代ATMは、「できたらいいなを、プラスしていく。」をコンセプトに掲げ、日本電気(株)様(以下、NEC様)の最新技術を集約し開発されています。

たとえば、新たに搭載された顔認証機能では、運転免許証などの証明書の顔写真を読み取り、世界トップクラスの顔認証技術により、カメラでお客様の顔と証明書の顔写真を照合。銀行の窓口と同様、口座開設時などの重要な本人確認手続きが可能になります。また、QRコードの読み取りにも対応しており、決済などのサービスへの用途拡大を予定しています。

これまでもセブン銀行は20年にわたってNEC様とともにつねに価値を提供してきました。モデルチェンジの

両社の密なコミュニケーションが 技術者の不可能への挑戦を支え 利便性と安全・安心を追求



日本電気株式会社
システムデバイス事業部長
藤田 茂樹氏

NECは20年前からセブン銀行様とタッグを組み、当時なかった24時間365日の稼働を実現する第1世代ATMの開発に携わりました。

セブン・イレブンの店舗には銀行のように複数台のATMを原則置けないため、故障してサービスを止めない安定性が求められました。同時に、お客様の動線を阻害しないコンパクトな設計の必要があるなど、一般の銀行に設置されている高速・大容量化を優先した当時のATMの設計思想とは根本が異なっていました。

しかし、NECはもともセブン・イレブンの販売・業務管理システムやネットワーク、情報端末などの開発・運用に取り組んできたので、セブン・イレブンのお客様・店舗・従業員、それぞれの視点に立ち、限界を決めずに利便性と安全・安心を追求する重要性を理解しています。その知見と経験を活かし、セブン銀行様と議論を重ねながら理想のATMを追い

たびに、お客様のお取引やATM本体のスピードアップ化、環境性能の向上、電力消費量、故障率の低減を実現。さらに現在では、ATM内の紙幣を切らさないよう、ATMごと現金をA-1が管理しています。

また、ATMの消費電力およびCO₂排出量を前世代のATMに比べて約40%削減し、環境負荷の低減にも貢献。他に類を見ないATMに進化しました。

使い心地においても、包み込むような曲面の大型バイザーを採用し、さらなるプライバシー空間を実現。ATM操作画面では、大きな文字とアニメーションでどなたにも見やすく、わかりやすい色づかいを採用しています。さらに、車いすの方でもご利用しやすいように、インターホンの位置を下げる工夫や、杖置き、買物袋を下げるフックなどをご利用しやすい位置に見直すなど、さまざまなお客様がご利用されることを想定して設計をしています。

セブン銀行はこれからも、多くのお客様にご利用いただけるよう、ニーズに的確に 대응する進化を続け、より信頼される銀行を目指していきます。

求めたのです。

その姿勢と関係性は現在も変わりません。この20年間、毎月継続的に話し合いの場を設け、利用状況のデータからATMを利用するお客様の動向を分析し、また最新技術の活用を検討、第3世代までにATMの機能面での進化を完了しました。そしてさらに次世代のあるべきATMの形を追求する中で、第4世代では事業コンセプトの転換をともなう新たな進化がお客様に求められているという共通認識を得たのです。

ただし、それを実際のATMで実現することは容易ではありません。ですが、セブン銀行様はビジョンや細部の要望とその理由など、コミュニケーションを当社の営業担当だけでなく開発担当まで直接伝えてくれます。それが不可能を可能にしようとする技術者のモチベーションを高め、セブン銀行様との共創による新たなイノベーションを生み出すのです。そして何より「世の中をより便利に変えるものを創ってきた」という自負が、「ATM+（プラス）」の妥協のない開発にもつながっています。

「ATM+（プラス）」もまた、これから稼働していく中で技術的な困難に行き当たるはずですが、セブン銀行様とともに必ず乗り越えていけると思っています。